

△ 注 意

組立て上の注意

- 組立てる前に、必ずこの取扱説明書をよく読み「組立て方」に従って正しく組立ててください。
- 組立てる前に、部品が揃っているか確認してください。
- 組立てる時に、部品などを幼児や子供の手の届く場所に放置しないでください。
- 組立てる時に、部品の端部などでけがをしたり、指をはさまないように充分注意してください。
- 部品に破損や不具合などがある場合は、そのまま使用せず、弊社お客様相談室までご連絡ください。
- 組立ては、水平で平らな場所で行なってください。また、床面がキズつかないようにダンボールなどを敷いて行なってください。
- 設置する場所の近くで組立てることをおすすめします。
- 本製品は、必ず2人以上で組立ててください。

使用上の注意

- 本製品は屋内専用です。屋外での使用はお止めください。また、本来の用途以外での使用はお止めください。
- 各部がしっかり組立てられていることを確認した上で使用してください。組立てが不十分なまま使用すると非常に危険です。
- 水平でない場所・段差のある場所・不安定な場所での使用はお止めください。
- ストーブなど熱機器や火気のそばでの使用はお止めください。生地などに引火して火災の原因になります。
- 高温多湿の場所での使用はお止めください。また、直射日光など紫外線が当たる場所での使用はお止めください。
- フローリングなどキズが付きやすい床面で使用する場合、敷物などを敷いて床面を保護してください。
- Pタイルなど硬質で滑りやすい床面では、滑らないように軟らかい敷物などを敷いてから使用してください。
- じゅうたんや畳などやわらかい床では荷重で沈んだり、へこみや跡がつくことがあるため、敷物や当て板を敷いてください。
- クッションフロア材（塩化ビニル樹脂）の上に本製品を設置して、長時間置いたり、紫外線や高温にさらすと、色移りで表面が変色する場合があります。
- 乳幼児のベッド代わりでの使用はお止めください。
- 本製品で仮眠や睡眠をとらないでください。
- 可動部の隙間に指を入れないでください。はさまれてけがの原因になります。
- 座面以外の所や座面前縁などには座らないでください。転倒する原因になります。
- 素肌や衣類などが濡れた状態での使用はお止めください。シミ・汚れ・劣化の原因になります。
- 座ったままでの移動はお止めください。床面がキズついたり、転倒する原因になります。また、本製品の移動は持ち上げて行ってください。
- 本製品に使用している張り材は、温度・湿度・紫外線・汗などの環境の変化により長期間の使用において劣化・摩耗することがあります。ご了承ください。
- 本製品の特性上、使い始めににおいがする場合があります。時間の経過とともに軽減しますが、気になる場合は部屋の換気をしたり、風通しの良いところに置いてください。
- 使用中に、破損・変形・異音などの異常が生じた場合はただちに使用をお止めください。

お手入れの方法

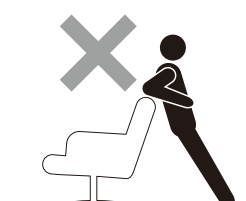
- 汚れた場合は、乾いたやわらかい布で拭いてください。汚れがひどい場合は、やわらかい布に薄めた中性洗剤を含ませ、固くしぼってから汚れを落としてください。その後、乾いたやわらかい布で拭いて水分を取り除いてください。
- ベンジン・シンナー・アルコール・磨き粉などの使用はお止めください。はがれ・シミ・変色などの原因になります。また、化学雑巾やクリーナーなど化学薬品を含むものを使用する時は、その注意書きに従ってください。

製品にぐらつき、異音、その他不安定な状態を感じた場合はそのまま使用せず、ねじの緩みなどがないか点検してください。
ねじの緩みがある場合は、締め直してご使用ください。ねじが緩んでいる状態で使用を続けると、破損やけがの原因となります。
ねじを締め直しても改善されない場合は、ご使用を中止してください。

下記の行為はお止めください。転倒の原因になり非常に危険です。

- 

●勢いよく座らないでください。
- 

●座面に立ち上がりたり踏み台として使用しないでください。
- 

●背もたれによりかからないでください。
- 

●アームレストに座らないでください。
- 

●オットマンは足を置く目的以外には使用しないでください。
●オットマンの上に立ったり座ったりしないでください。

**株式会社ドウシシャ**

お客様相談室

〒140-0011 東京都品川区東大井1-8-10

0120-104-481

【受付時間 9:00～17:00 祝日以外の月～金】

※商品名・品番をご確認の上、お電話ください。

※電話の際にお話し頂く情報は、お客様へのアフターサービスにおいて利用させていただきますので、予めご了承ください。

ドウシシャ

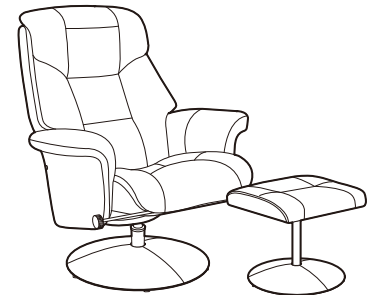
検索

MADE IN CHINA

Lot No,

**パーソナルチェアワイドオットマン付き**

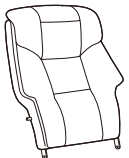
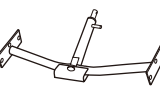
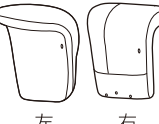
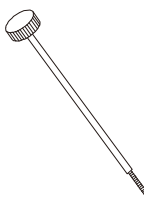
取扱説明書

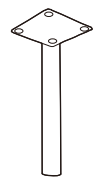
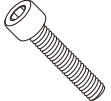


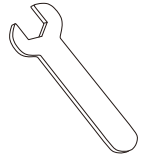
この度は、弊社製品をお買い求めいただきまして誠にありがとうございます。
正しくご使用いただくために必ずこの取扱説明書をお読みください。
尚、お読みになられた後もいつでも見られるように大切に保存してください。

品 番	組立てサイズ(cm)			座面のサイズ(cm)			耐荷重(kg) *
	幅	奥 行	高 さ	幅	奥 行	座面高	
PCWO-80	(約)75	(約)81～118.5	(約)87～104	(約)50	(約)52	(約)40～44	90
オットマン	(約)45	(約)42	(約)40	—			40

※本製品の耐荷重は測定値であり保証する値ではありません。

内容明細							
梱包内容を下記の明細に照らし合わせて、組み立てる前にご確認ください。							
部品名	背部	座部	連結フレーム	アームレスト	台座(大)	シリンダー	調節ノブ
部品図				 左 右			
個 数	1	1	1	2	1	1	1

部品名	オットマンクッション部	台座(小)	オットマン脚部	ねじ(A)	ねじ(B)	ねじ(C)	ねじ(D)
部品図							
個 数	1	1	1	1(+予備1)	6(+予備1)	2(+予備1)	2(+予備1)

部品名	ねじ(E)	ナット	六角レンチ(小)	六角レンチ(大)	スパナ
部品図					
個 数	4(+予備1)	3(+予備1)	1	1	1

付属の工具は組立て後も点検のために使用します。
大切に保管してください。



電動ドライバーなど、**電動工具の使用はお止めください。**
部品の変形や破損の原因になります。組み立てる時やねじの締め直しをする時は、**必ず手動の工具を使用してください。**

組み立てのポイント

最初に**全てのねじを仮締め**してから**最後に全てのねじをしっかりと締める。**

ねじを7～8割ぐらい仮締める。



仮締め

→

ねじをしっかりと締める。



しっかりと締める

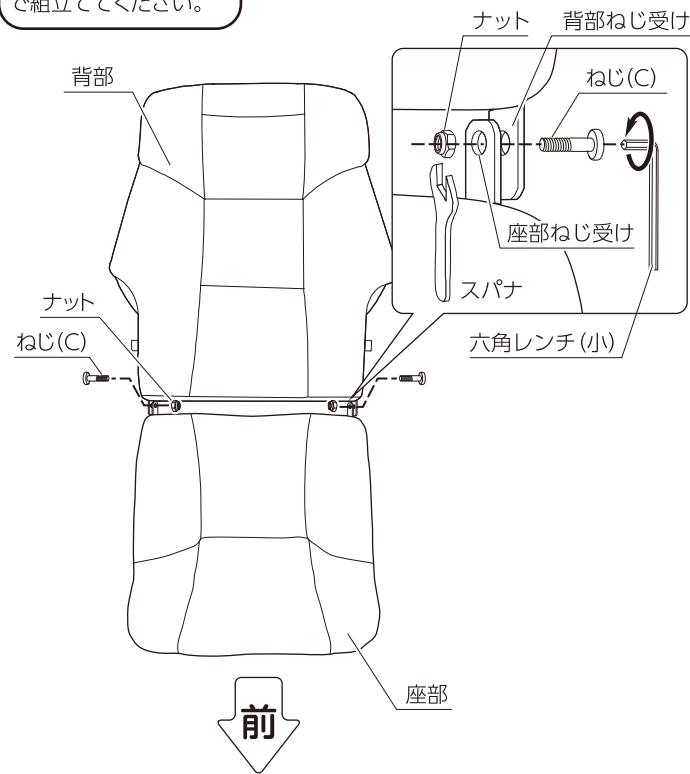
※ねじを最初からきつく締めると、他のねじの位置が合わなくなり、組み立てができなくなります。また、全体がゆがむ原因にもなるため、最初はねじを仮締めにして、最後に全てのねじをしっかりと締めるようにしてください。

1 背部と座部の取付け

背部と座部を、ねじ(C)とナットで仮締めします。

△ 注意

本製品は、必ず2人以上で組立ててください。



2 背部とアームレストの取付け

ねじ受け部とアームレストをねじ(D)で仮締めします。

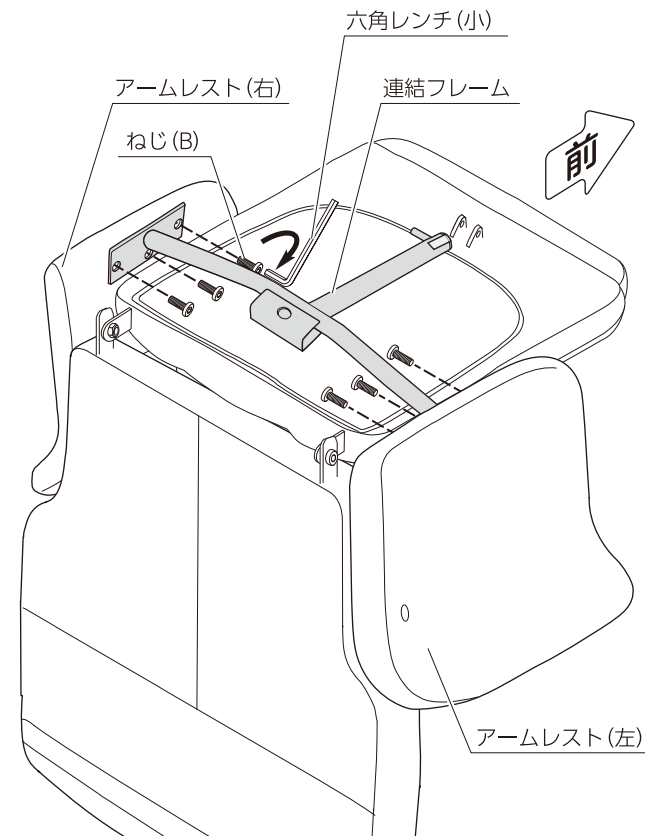


△ 注意

アームレストの左右を間違わないようにしてください。

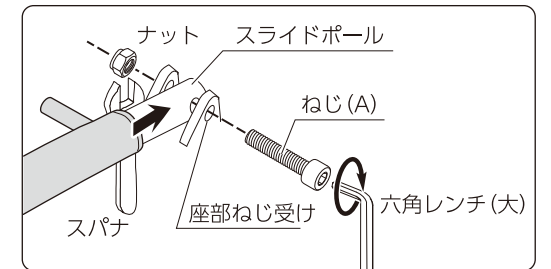
3 アームレストと連結フレームの取付け

2を裏返し、アームレストを、連結フレームにねじ(B)で仮締めします。

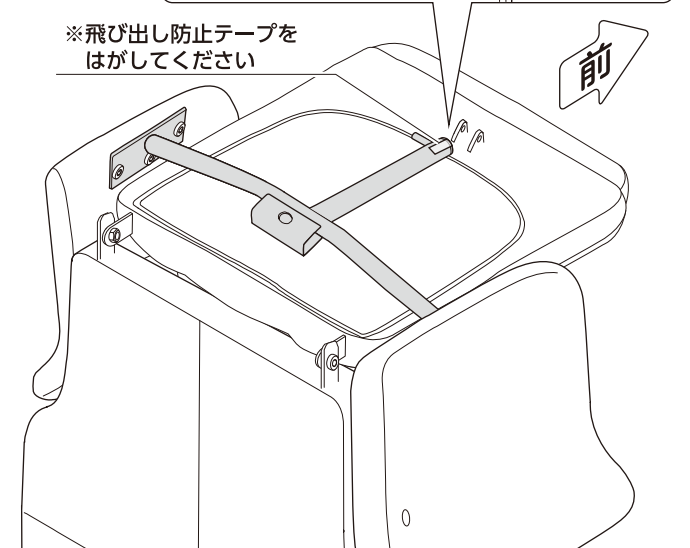


4 座部と連結フレームの取付け

連結フレームからスライドポールを取り出し、ねじ(A)とナットで取付けます。最後に1～3で仮締めした全てのねじをしっかり締めます。

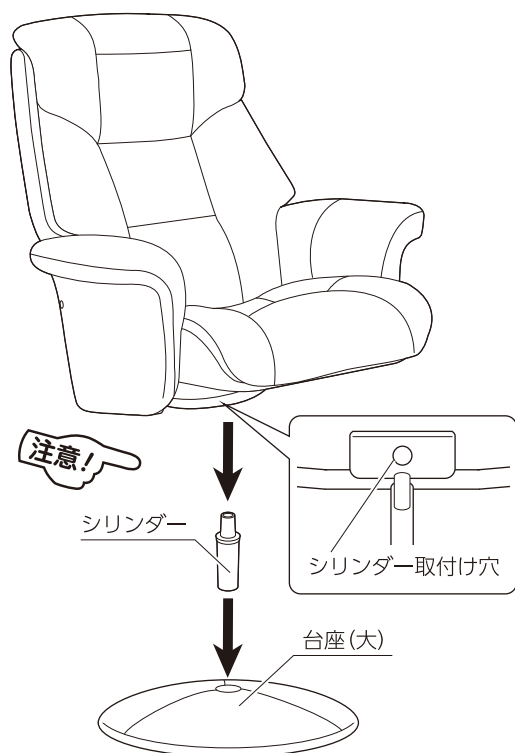


※飛び出し防止テープをはがしてください



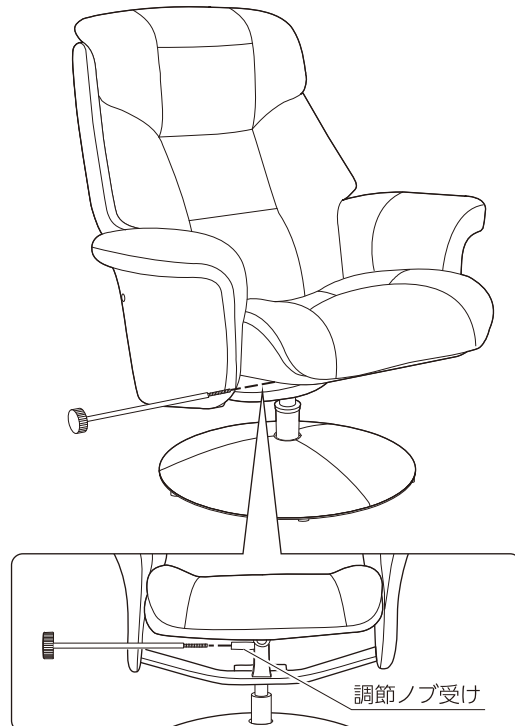
5 座部本体と台座の取付け

台座(大)にシリンダーを差し込み、1～4で組立てた座部本体を、シリンダーにまっすぐ入るように差し込みます。



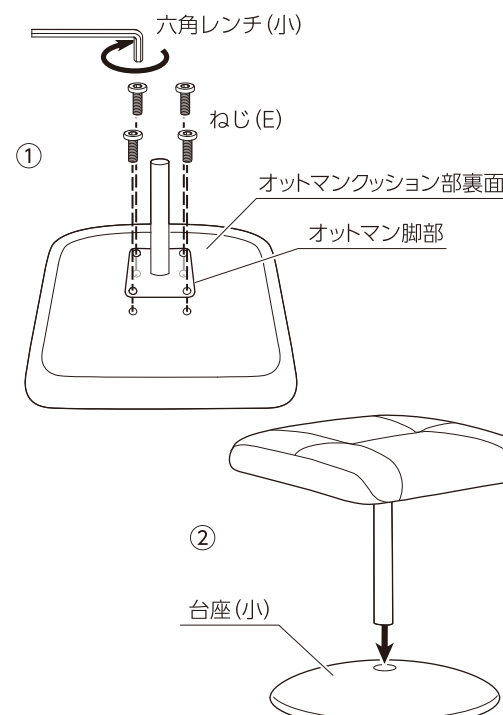
6 完成

調節ノブを取付けたら完成です。組立てた部分に緩みがないか確認します。緩みがあればしっかり締めます。その後、座ってゆっくり体重をかけてください。チェア全体が固定されます。



7 オットマンの組立て

- ① オットマン脚部を、オットマンクッション部裏面にねじ(E)で仮締めします。最後に仮締めした全てのねじをしっかり締めます。
- ② ①を裏返し、台座(小)にまっすぐ入るように差し込みます。



リクライニングの調節

座面右側面の調節ノブを回すと、お好みのリクライニングの位置に調節できます。(背部は完全に固定することはできません。)



△ 注意

- 背部を前後するときや、後傾状態でご使用になる場合は、転倒にご注意ください。調節ノブでリクライニングしやすい状態にした場合は、特にご注意ください。
- 後傾する際、転倒や破損の原因になりますので、強い動作でのご使用はお止めください。
- 可動範囲を超えて無理に倒さないでください。転倒や破損の原因になります。

連結フレームからスライドポールが抜けない場合

スライドポールを布で覆い、ペンチなどではさんで連結フレームから引き出してください。

